

H. P. Report

ASPについて (2)

ASPは1999年秋からビジネスとして立ち上がり始め、2000年になって一気に参入企業が増えています。確かに利用する企業としても、アプリケーションを作成する企業としてもいろいろとメリットが多いサービスではあります。たとえば利用する企業側としては、主にこれからECをはじめようとするベンチャー企業にとって、ビジネスに必要なシステムを一から構築しなくても必要なアプリケーションをASPから借りればすむことになり、始めようとしたときにスピーディな事業展開が可能となります。アプリケーションを作成する企業にとっても、作成し提供するアプリケーションが直接ユーザ企業に提供されるわけですから、開発と販売が密接に結びつき、ユーザの状況を製品にすぐに反映させることができるコンピュータソフト会社のネットビジネスということが出来ます。

ASPは初めECに必要な電子メール、Webサーバ、ECソフトなどから始まりました。すぐにその範囲は、会計ソフト、人事管理、購買、顧客管理などに広がり、基幹業務からグループウェアにまで広がりつつあります。たしかに、ASPを提供する会社には、コンピュータソフトメーカーが自社製品を直接提供している場合と、ASPを提供する会社がソフトメーカーの製品を取り扱う場合があります。また、利用する企業側にとっても、1社のASPを利用する場合と、アプリケーションによって複数のASPを利用する場合などいろいろな場合があります。今後はアプリケーションによっていろいろなASPを活用するようになるものとは考えられます。

ASPはアプリケーションを提供するだけのものとして始まりましたが、ASPサービスの提供を足がかりに「商圈」作りにも乗り出すところもあります。つまり、ASPをテ提供しているメーカーを対象にオフィスサプライ用品の販売などの企業間ECサービスを提供しようとするもので、業務ソフトの提供と合わせて企業間ECサービスを提供しようとするものです。また、複数の企業の受発注アプリケーションの情報を組み合わせることによって企業間の取引システムを構築することも簡単に行うことができます。ASPサービスは、アプリケーションを提供するというサービスの提供ばかりでなく、企業活動自体に新たな方法、市場を提供するものになる可能性を含んでいます。

アプリケーションは日進月歩進化しています。これまでのように1度構築すれば最低3年から5年は使わざるおえないものであれば、早いビジネス環境の変化についていくことができなくなってしまうかもしれません。身近なワープロ、表計算にしても新機能が追加され、使いやすくなっても買い換えるわけにはなかなかいきません。その点ASPであれば新機能が追加されればすぐに使えるようになります。確かにこう考えるとASPはこれからのネットワークの中で広がっていくものと考えられます。企業基幹システムの場合でも、たとえば法改正があっても企業ごとに対応開発を行う必要がないわけですから、安心して利用することができるわけです。また、ECサイトが利用した場合、アプリケーションを提供するばかりではなく、顧客管理や決済などのバックオフィス業務をASPサービスで提供使用とする動きもあります。アプリケーションを提供することが目的ではなく、バックオフィス業務などのサービスを提供するためにアプリケーションの提供を手段として利用しようとするものです。始まったばかりのASPサービスの提供。日本での今後について検討してみたいと思います。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 7月31日号

特集 つながらないBluetooth

→対応すれば、モジュールをつめば、ロゴを取得すれば、何でもつながると思われているBluetooth。でも実際はその相互接続性は各メーカーで対応しなければならない。このままではつながらないインターフェースになってしまうかもしれない。

解説 Ethernetが10Gビット/秒へ 通信サービスに価格破壊

→Ethernetの通信速度が10Gビット/秒となり、伝送距離も40kmに伸びる。LANの守備範囲を超えたEthernetが通信サービスの価格破壊を引き起こす。

○日経パソコン 7月24日/8月7日号

特集 トラブル対処の作法

→パソコンにはトラブルがつきもの。ハードディスクがクラッシュしたり、パソコンが立ち上がらなかつたりなど。でも対処の仕方によってはトラブルからの脱出はそれほど難しいことではない。

特集 最新デジカメは個性で選ぶ

→少し前に300万画素のデジカメが話題の中心であったが、今新製品は個性的になってきている。いろいろな個性的なデジカメの特集。

レポート 無線LAN導入の基礎知識

→無線LAN対応機器が安くなり、11Mbpsと高速になって使えるようになってきた。使い方から製品選びまでの基礎知識は。

○日経バイト 8月号

特集 対決!ネットワークOS

→ネットワークOSにもWindows系、Novell系、Linux系などいろいろある。使い方によっていろいろな機能を持つものや規模が合わず必要でない機能を持つものまである。実際にインストールから設定、各種機能についてテストを行い、比較する。

特集 ファイアウォールのすべて

→内外のシステムを分離し、不正アクセス/進入、サーバへの不正攻撃に対処するファイアウォール。その仕組みと製品紹介。

○INTEROP 9月号

特集 安価なルータで実現するVPN

→インターネットが普及し、ネットワークを本格的に利用しようとする場合問題になるのが「セキュリティ」。公衆回線を用いてプライベートなネットワークを構築するために安価なルータで構築する方法とその場合のセキュリティについて。

特集 社内バックボーン構築の勘所

→社内ネットワークのバックボーンは以前はルータで構築されていたが、社内トラフィックの増大から高速スイッチに置き換わってきている。ビル内ネットワークをスイッチでどのように構築するか、その場合のセキュリティの確保とトラフィック管理をどうすればよいかをポイントを中心に解説。

○ASCII 8月号

特集 Windows Meを丸裸にする

→9月22日発売の究極のWindows 9XであるWindows Me。新しいOSはどのように変わり、どのように使いやすくなるのか。新機能、新フィーチャーを徹底的に特集。

特集 究極のキーボードを求めて

→究極のキーボードとはどのようなものか。キーボードの仕組みから、各種製品紹介、タイピングソフトを通して究極のキーボードを探る。

○PC STYLE 21 8月号

特集 Windows 98高速化完全攻略マニュアル

→使っていくうちに遅くなったように感じるパソコン。Windows 起動の高速化から、ハードディスクなどの最適化などWindowsをどのようにして高速化するか、実際の効果を含めて特集。

特集 CD-R/RW最強裏技大全

→CD-Rの書き込みにつき物の書き込みエラー。回避するための設定、裏技の特集。あわせてオリジナルCDの間違いのない作成手順

○ASCII DOS/V 9月号

特集 Athlon、Duronの真相、i815E、KT133マザーの実力

→新しいCPUとチップセットが登場し、いろいろな選択肢が増えてきている。特にAMDのCPUが注目、CPUとチップセットの技術情報とその実力は。

特集 2000夏 美デオカード

→ビデオカードの基本的構造から最新ビデオカード選びまで、ビデオカードを買い換えようとしている人向けの特集。

○DOS/V magazine 8月15日号

特集 完全無欠のPC自作塾

→夏休みにPCを自作する。今年の夏チャレンジする人のための部品選びからトラブルシューティングまで。

特集 最新マウスに夢中!

→パソコンの付属品みたいで、あまり注目されないマウス。パソコンの使い勝手では最も重要なものとして、その構造から、製品紹介まで。